

事務事業評価調書（16年度）

別紙 1 - 5

事業名	豊予海峡道路調査	部局名	土木建築部	
		課室名	高速道対策局	
	事業コード	2 - (8) - - 10	評価責任者名	局長 河野 元勝
			担当係名	4724

【事業内容等】

政策体系	政策名：社会資本整備などによる広域連携の推進 施策名：広域連携の推進			
事業区分	A 自治事務 B 法定受託事務	A 国庫補助事業 B 県単独事業	事業期間	平成7年度～ 平成 年度
根拠法令等	全国総合開発計画「21世紀のグランドデザイン」			
事業の概要	事業創設の背景・今後の動向等 太平洋新国土軸構想の推進のため、豊予海峡道路の調査、検討を行っていたが、今後は息の長い取り組みとして、地震観測、風観測を継続して行う。			
	対象(何、誰を対象とした事業か) 西日本全体との交流連携			
	手段(実際の事業内容) 国土交通省、愛媛県と連携して、地震観測、風観測を行う。			
	意図(対象をどのようにしたいのか) 将来的な計画として、長大橋検討に必要な基礎資料の収集を継続して行う。			

【投入された費用及び業務量の推移】

* 事業に投入されたコストを明らかにする(input)						
投入指標		12年度	13年度	14年度	15年度	16年度(予算)
決算額(千円)		26,000	26,000	26,000	12,000	1,000
財源内訳	国庫支出金	2,000	2,000	2,000	2,000	
	一般財源	24,000	24,000	24,000	10,000	1,000
	職員数(人)	0.4	0.4	0.4	0.4	0.2
人件費(千円)		4,000	4,000	4,000	4,000	2,000
合計(千円)		30,000	30,000	30,000	16,000	3,000

【活動実績の推移】

* 事業活動の具体的内容を明らかにする(output)						
実施結果	活動指標	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度(計画)
	地域連携調査 「地域活性化プロジェクトに関する検討」	地域整備プロジェクト検討のため	西日本及び西瀬戸地域にみる課題の把握と体系的整理	生活分野における交流面の課題整理	西瀬戸地域の産業交流にみる課題整理	15年度までに行った調査検討結果のとりまとめ
	技術調査 「自然条件調査」 「橋梁計画の検討」	風・波浪・地震観測、水中コンクリート、主塔構造の検討	風・地震観測、海底露出岩調査 上下部工の工法検討	風・地震観測 蛇紋岩分布調査	風・地震観測 長大橋の工期短縮が可能な要因分析	風・地震観測 多径間吊橋の設計手法検討 (他プロジェクトとの共通調査)

【数値による業績測定】

* 事業の成果を具体的な数値で測る (outcome)																															
成	成果指標 計画した調査項目と 実施できた項目																														
	(計算式 (15年度)) (指標の根拠となる統計)																														
果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標の達成度</th> <th>12年度</th> <th>13年度</th> <th>14年度</th> <th>15年度</th> <th>16年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画 a</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>実績 b</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>b/a(%)</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td colspan="5"></td> </tr> </tbody> </table>	目標の達成度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	計画 a	6	5	4	4	4	実績 b	6	5	4	4	評価	b/a(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	B	備考					
	目標の達成度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度																									
	計画 a	6	5	4	4	4																									
	実績 b	6	5	4	4	評価																									
	b/a(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	B																									
備考																															

* 投入された費用や業務量の事業成果に対する効率を測る									
効	事業成果に対する効率性の算出 (15年度)								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>15/14年度 (%)</th> <th>単位当たり費用の推移</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>53.3</td> <td>12年度 5,000千円</td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td>13年度 6,000千円</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>14年度 7,500千円</td> </tr> </tbody> </table>	15/14年度 (%)	単位当たり費用の推移	53.3	12年度 5,000千円	評価	13年度 6,000千円	A	14年度 7,500千円
	15/14年度 (%)	単位当たり費用の推移							
	53.3	12年度 5,000千円							
	評価	13年度 6,000千円							
A	14年度 7,500千円								
16,000千円 ÷ 4箇所 = 4,000千円									
参考データ									
備考									

【事業の必要性】

評価	理由
C	社会経済情勢の変化等により、将来構想に対する基礎調査でもあることから、息の長い取り組みを行うこととした。

【本年度の重点項目】

県民の意見がどのように反映されているか	
NPO、ボランティア等の活用・協働がどのように図られているか	
予算の節約にどのように努めているか	風データ確保のため風観測装置の保守、点検業務のみを行う。

【総合評価】

方向性	ア 現状維持	イ 見直し	ウ 廃止	エ 休止	オ 終了
見直しの内容	a 事業内容の拡充 (実施主体や対象、手段を拡充する)	b 事業内容の変更 (実施主体や対象、手段を変更する)	c 事業内容の縮小 (対象・規模を縮小する)	d 効率化の推進 (単位当たりのコストを下げる)	e その他 (終期の設定・繰り上げ等)
改善計画等	長期的な構想として調査業務を縮小し、風データ確保のため風観測装置の保守、点検業務のみを継続することとしている。				